

国立研究開発法人国立がん研究センター理事会（平成 29 年度第 4 回）議事録

日 時：平成 29 年 7 月 27 日（木） 10：00～11：35

場 所：国立がん研究センター 管理棟 第 1 会議室

出席者：中釜斉理事長、門田守人理事、松本洋一郎理事、児玉安司理事、間野博行理事、
南砂理事、小野高史監事、増田正志監事

欠席者：なし

I. 前回（平成 29 第 3 回）議事録の確認

- ・前回議事録について了承。
- ・議事録署名人を松本理事と小野監事に依頼。

II. 審議事項

- ・なし

III. 報告事項

1. 院内がん登録（2015 年全国集計、2008 年 5 年生存率集計）の公表
資料に沿って報告された。

主な意見等

- ・意図しないことが報道されることもあるので、注意を要する。

2. がん登録オンラインシステムの障害時における対応

資料に沿って報告された。

主な意見等

- ・今回は先行する具体インシデントがあったわけではないが、脆弱性発覚の経緯を押しさえることが必要。
- ・厚生労働省で財源を確保している事業について、所管課と進捗状況等を共有することが重要。

3. がん情報サービスの震災時における対応

資料に沿って報告された。

主な意見等

- ・クラウドの運用は、センターと同時に被災しないような場所で行うことが重要。

4. 膵臓がんリスク疾患・早期膵臓がんに係る新たなバイオマーカーでの実験的検診

資料に沿って報告された。

5. AIを活用したリアルタイム内視鏡診断サポートシステム開発

資料に沿って報告された。

主な意見等

- ・開発段階にあるものでも、社会一般には大きな効果が期待されることから、報道等への説明ぶりには注意が必要。
- ・データが集まってくると発見率も上がってくると期待される。

6. 青森県のがん検診での見落としに関する報道への見解

資料に沿って報告された。

主な意見等

- ・統計データについて、間違っがんと診断する確率と間違っ診断されない確率とのバランスが重要といった点が理解されないことが多い。多くの人が容易に理解できるように、わかりやすい説明が必要。

7. 寄付金実績のホームページ掲載

資料に沿って報告された。

主な意見等

- ・寄附の文化を浸透させていくことが重要。
- ・年度を超える場合の繰越の制約が問題になることがあるので、確認を要する。
- ・税控除のあり方について、国立大学法人と同じ仕組みが望ましい。
- ・個人と法人を分けて整理した上、税効果を併せて説明してはどうか。
- ・寄附者の顕彰について、より効果的な具体方法を工夫してはどうか。
- ・ふるさと納税のように、公的医療以外の部分で見返り的なメリットの提供を検討してもよいのではいか。
- ・大口の寄附については、患者や家族の思いにどう応えるか、ストーリー性のある対応が効果的ではないか。

8. 第14回健康・医療戦略参与会合等

資料に沿って報告された。

9. 平成29年度第2回6NC理事長会議

資料に沿って報告された。

10. 築地キャンパス管理棟分館の解体

資料に沿って報告された。

11. 投資委員会報告

資料に沿って報告された。

主な意見等

- ・事務機能の向上についても、検討していくことが必要。

12. 広報実績

資料に沿って報告された。

13. 6月分月次決算

資料に沿って報告された。